

第 74 回 （2025 年度） 全国社会科教育学会

全国研究大会プログラム

大会テーマ

社会科教育は、主権者教育の充実を図るためにどうあるべきか

会期：2025 年 10 月 12 日（日）～13 日（月・祝）

会場：熊本学園大学

1. 日程（当初案とは異なり，1 日目のみ開始時刻が 30 分早まっております）

第 1 日 10 月 12 日（日）

8:30 9:00

11:30 11:40 12:50 13:00

16:00 17:00

受付	自由研究発表	移動	昼食	移動	シンポジウム	総会
			理事会			
			若手交流会			

第 2 日 10 月 13 日（月・祝）

9:00 9:30

11:30 12:20

13:50 14:00

16:00

受付	課題研究	昼食	自由研究発表	移動	研究委員会地域連携 プロジェクト
					国際委員会企画ラウン ドテーブル

2. 参加費

一般 3,000 円（当日支払いの場合 4,000 円）

大学院生 2,000 円（当日支払いの場合 3,000 円）

3. 参加申し込み

事前申込の締切は 9 月 28 日（日）の 17:00，事前振込の締切は 10 月 1 日（水）の 17:00 です。期限を過ぎた場合は，当日支払い扱いとさせていただきます。学部生は無料となります。事前の申し込みは不要です。当日，受付で学生証をご提示ください。ただし，発表する場合は大学院生扱いとなります。なお，託児に関しては，申し込みを締め切らせていただきました。

大会の詳細については，大会 HP をご覧ください。全国社会科教育学会の HP（<https://jerass.jp/>）からもリンクしています。

4. 会場の施設

- ・会場にはプロジェクターおよび HDMI の接続ケーブルがあります。
- ・PC やアダプター等は各自でご用意ください。
- ・プロジェクター投影のチェックは，各分科会の開始前にお済ませください。
- ・各机にコンセントが設置されている教室は少ないため，PC 等は事前に充電してください。
- ・会場校では，eduroam（無線 LAN システム）が利用可能です。勤務校等で eduroam のアカウントを取得して参加してください。なお，勤務校等でアカウントを取得できない参加

者は、会場校でビジター用アカウントを取得して eduroam を利用可能です。

・学内の駐車場は利用できません。近隣のコインパーキング等を利用してください。

5. 発表資料

本大会では、オンライン掲載となっております。大会ホームページをご覧ください

6. シンポジウム

シンポジウムの発表資料は、10月1日以降、随時、掲載します。

また、シンポジウム配信用の接続情報も合わせてお知らせします。

7. 昼食

両日とも、近隣の飲食店などをご利用ください。

8. その他

悪天候等の緊急のお知らせ・大会情報等は、大会ホームページや全国社会科教育学会のホームページにて、随時発信します。

9. 大会事務局

第74回全国社会科教育学会全国研究大会実行委員会

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 熊本大学教育学部

担当：藤瀬泰司・竹中伸夫

E-mail: jerass74kumamoto@gmail.com

※会場校（熊本学園大学）への問い合わせはお控えください。

会場案内

第1日：10月12日（日）

自由研究発表：9：00～11：30

第1分科会	1 1 3 1 教室
第2分科会	1 1 3 2 教室
第3分科会	1 1 3 3 教室
第4分科会	1 1 3 4 教室
第5分科会	1 1 4 1 教室
第6分科会	1 1 5 1 教室
第7分科会	1 1 6 2 教室
第8分科会	1 1 6 3 教室
第9分科会	1 1 7 2 教室
第10分科会	1 1 7 3 教室

理事会：11：40～12：50 1 4 1 1 教室

若手交流会：11：40～12：50 1 4 1 2 教室

シンポジウム，総会：13：00～ 高橋守雄記念ホール

第2日：10月13日（月・祝）

課題研究：9：30～11：30

課題研究Ⅰ	1 1 3 1 教室
課題研究Ⅱ	1 1 4 1 教室
課題研究Ⅲ	1 1 5 1 教室

自由研究発表：12：20～13：50

第1分科会	1 1 3 1 教室
第2分科会	1 1 3 2 教室
第3分科会	1 1 3 3 教室
第4分科会	1 1 3 4 教室
第5分科会	1 1 4 1 教室
第6分科会	1 1 5 1 教室
第7分科会	1 1 6 2 教室
第8分科会	1 1 7 2 教室

研究委員会地域連携プロジェクト：14：00～16：00 1 1 6 3 教室

国際委員会企画ラウンドテーブル：14：00～16：00 1 1 7 3 教室

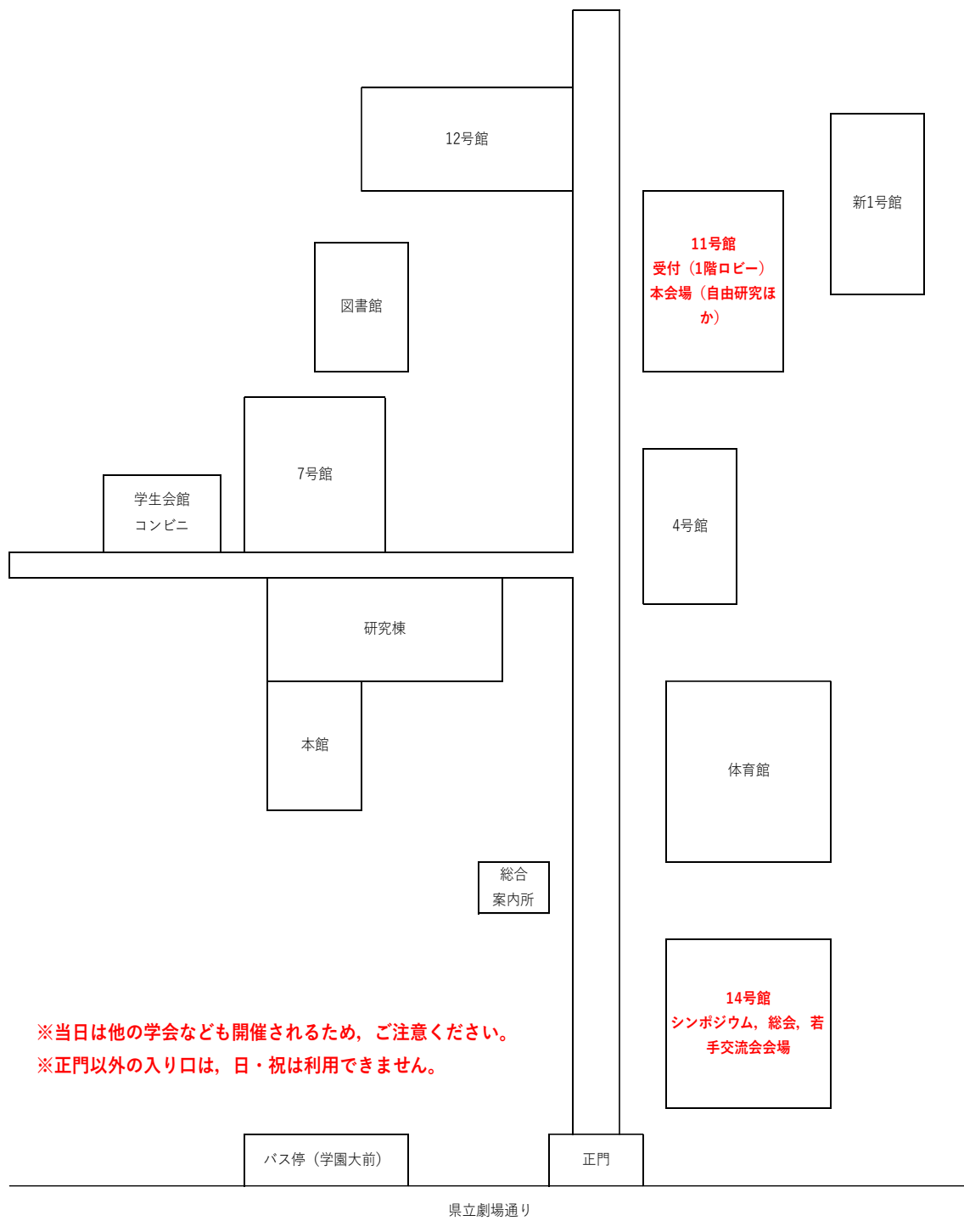
受付・学会事務局 11号館1階ロビー

会員控室 1 1 4 C

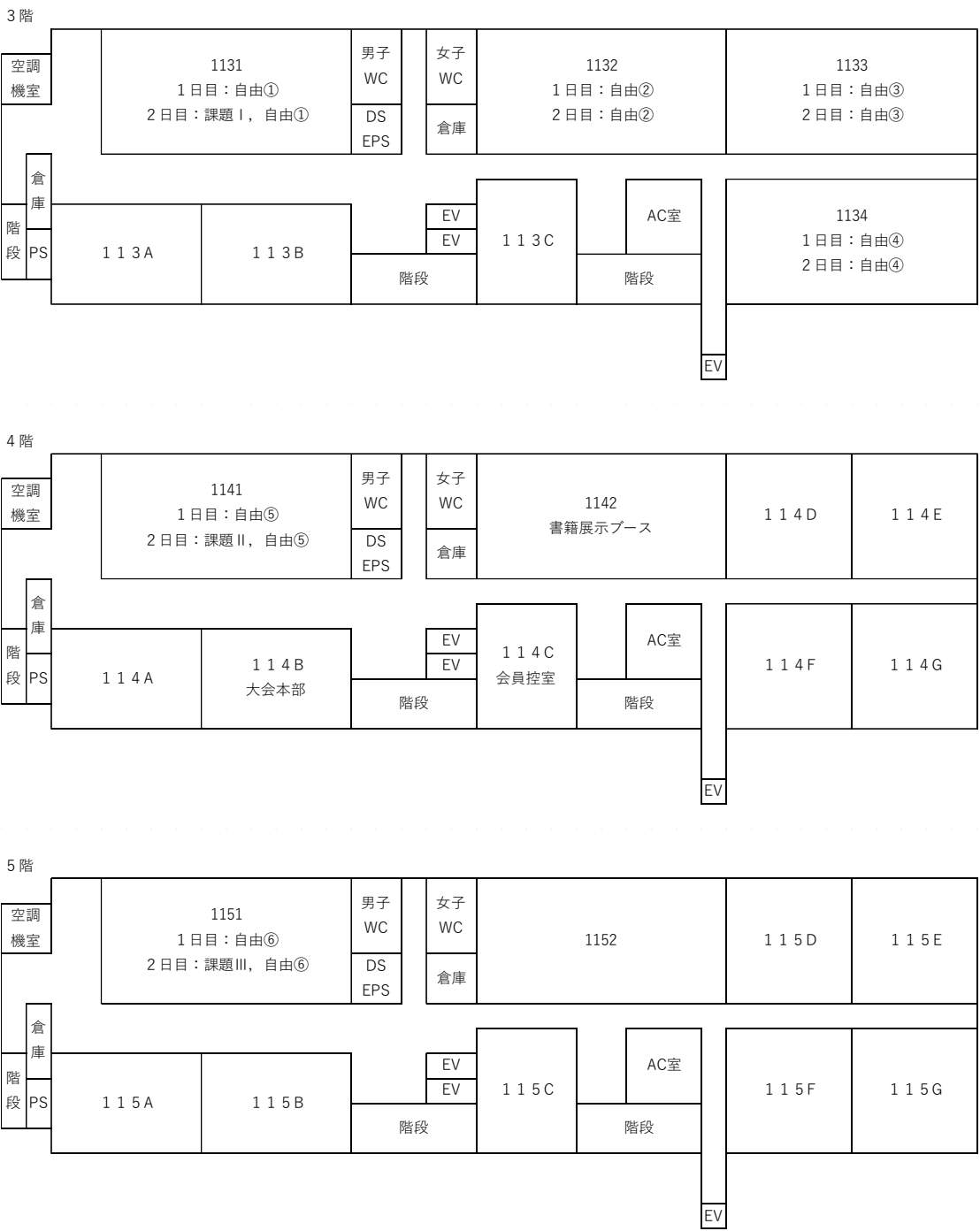
書籍展示 1 1 4 2 教室

大会本部 1 1 4 B

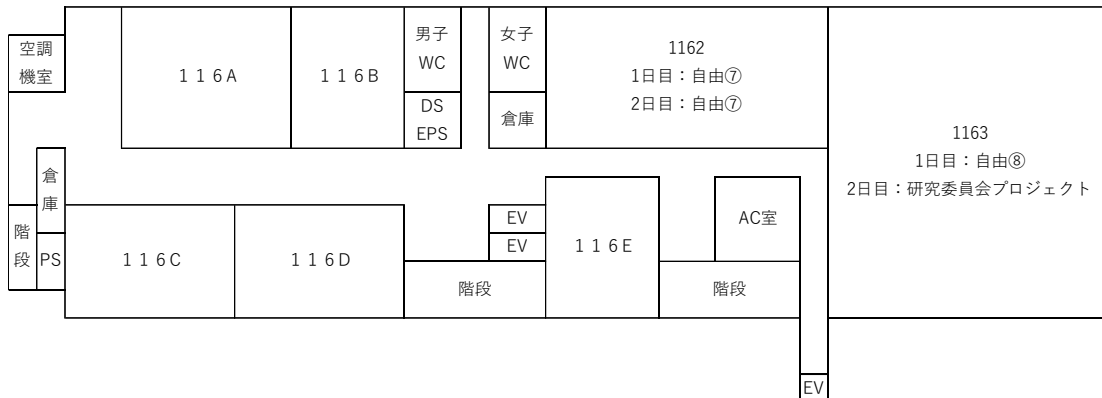
熊本学園大学校舎配置略図



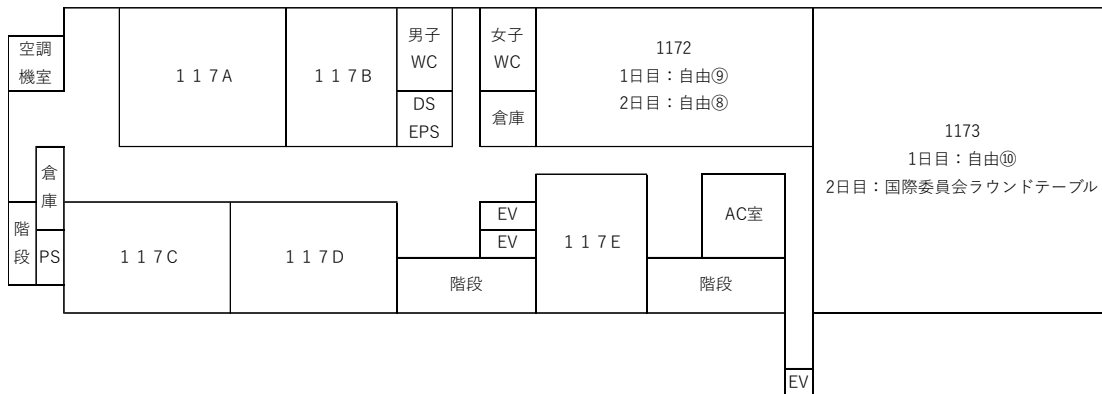
会場見取り図（11 号館）



6 階

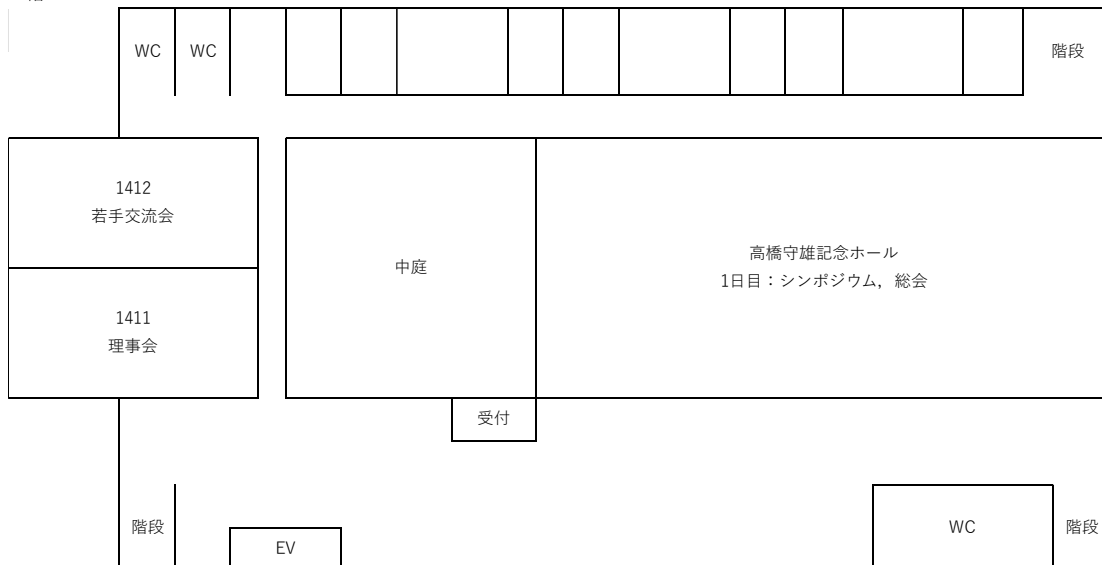


7 階



会場見取り図 (14 号館)

1 階



〈1日目（10月12日）〉

自由研究発表【9：00～11：30】

※一人（グループ）20分発表・10分質疑

【第1分科会】 1131 教室

司会：岡田 了祐（富山大学）

峯 明秀（大阪教育大学）

①小学校社会科における学習者のレリバンス形成を目指したパフォーマンス課題とその評価方法の開発

兵庫教育大学大学院 谷水 恵太

②社会科評価実践を民主化する方法の考察

宮崎大学 藤本 将人

③反転授業をもとにした日本史探究カリキュラムの効果

東京都立江北高等学校 相川 浩昭，広島大学 池尻 良平

④小学校社会科における自己調整学習の実践ーオンラインによる振り返りと形成的フィードバックを通してー

東京都新宿区立四谷小学校 石井 正広，東京都新宿区立四谷小学校 香取 桜子

【第2分科会】 1132 教室

司会：石川 照子（三重大学）

渡邊 巧（広島大学）

①ある「歴史学系教員」の歴史教育観の形成過程の考察ー幼少期からのオートエスノグラフィを通してー

和歌山県立文書館 寺前 駿

②調査結果から見える公民科・社会科教育法履修学生の意識と課題

日本大学 奥田 智

③中学校社会科教師へのライフストーリー研究による教職大学院生の授業観の変容ー研究校でのAR(アクションリサーチ)を通してー

広島大学大学院 寺戸 彩乃

④小学校教員は社会科地域学習の実践的研修から何を学ぶのかー研修的意図を持った遠隔合同授業に対する教員の意味づけを手がかりにー

福山平成大学 迫 有香

⑤教育実習生における教育観形成過程の分析

兵庫県立宝塚北高等学校 落水 裕大

【第3分科会】 1133 教室

司会：角田 将士（立命館大学）

真島 聖子（愛知教育大学）

- ①日本各地の小学校社会科副読本に関する調査研究：第3学年「市の様子の移り変わり」を事例として

東京都立川市立第一小学校 松本 武

- ②子どもの心理と教育内容の論理を結びつけた映像メディアの活用について ～第6学年「縄文時代の暮らし（青森県の三内丸山遺跡の発掘状況をもとに作成）（想像図）」と第4学年「健康な暮らしを守る仕事（想像図）」を事例として～

広島大学附属東雲小学校 原紺 政雄

- ③デジタルの中にある多様な歴史解釈と向き合う子どもをいかに育てるか—HISTOLABの歴史学習教材集を応用した小学校社会科単元の開発を通して—

京都教育大学大学院 黒川 侑馬

- ④歴史を学ぶ意味についての事例研究：外国にルーツを持つ子どもへのインタビュー調査
環太平洋大学 鈺 悠介，広島大学大学院 劉 旭

- ⑤自我関与を促す高校世界史の教育内容開発—アースー王物語を題材として—

佐賀県立佐賀北高等学校 堤 敏浩

【第4分科会】 1134 教室

司会：磯山 恭子（国立教育政策研究所）

橋本 康弘（福井大学）

- ①高等学校「公共」における ELSI の観点を取り入れた授業実践 ～「AI の教育利用」を題材として～

箕面自由学園高等学校 岸本 直子

- ②人権とジェンダーの視点から「人口政策」を分析する中学校社会科単元開発—SRHR(性と生殖に関する健康と権利)の問題として「一人っ子政策」を捉える—

広島大学大学院 野呂 航平

- ③「民主的」家族の視点から親密圏と公共圏の関係を考える主権者教育の構想—公民科と家庭科における育成すべき市民像に焦点を当てて—

日本文理大学 斉藤 雄次

- ④高等学校公民科における「市民の政治技術」を育成する主権者教育—政治参加と陳情・請願の事例を検討する授業を通じて—

東京都立新宿山吹高等学校 杉浦 光紀

【第5分科会】 1141 教室

司会：川口 広美（広島大学）

宮本 英征（玉川大学）

- ①社会科における子どもの主体的な学びのあり方と授業の偶有性

東京学芸大学附属竹早小学校 恒川 徹

- ②個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る学習過程の創造—「じぶん発・みんな経由・じぶん行き」の学習を通して—

- 東京都新宿区立四谷小学校 石井 正広, 新宿区立西戸山小学校 田内 利美,
東京都新宿区立四谷小学校 西川 潤, 東京都新宿区立四谷小学校 生井 香穂里,
東京都新宿区立四谷小学校 杉本 季穂, 東京都新宿区立四谷小学校 島谷 直樹
③中学校社会科においてどのようにすれば『切実さ』を実感させることが出来るのか
ーARCS モデルを活用した学習意欲向上を目指す授業の検討ー

岡山大学大学院 松岡 賢汰

- ④中学校特別支援学級における社会科意思決定学習ー複数の立場で考えるための授業方略
ー

岡山大学大学院 松岡 亮汰

- ⑤京都市における交通環境教育の展開 ー「歩くまち・京都」学習を通してー 中間報告 (そ
の 2)

京都市立西賀茂中学校 上畑 直久, 京都市立久世中学校 弘田 真基,
京都市立洛北中学校 三間 英孝, 元京都教育大学 水山 光春

【第 6 分科会】 1151 教室

司会：栗谷 好子 (群馬大学)

山田 秀和 (岡山大学)

- ①歴史的ナラティブを通してみる、世界とつながる地域事象の指導方略ー歴史総合・小単元
「大嶺炭田と ECSC」を事例としてー

兵庫教育大学大学院 松村 淳

- ②熟議を通して現代社会に向き合う歴史授業の開発と検証：公共圏の形成を目指して

広島大学大学院 舟津 実緒

- ③アートとしての歴史教育と実証研究の射程拡大：生徒による再構成と表出過程に着目し
て

東京大学大学院 鈴木 萌花

- ④高校卒業後の歴史学習に対する意識の変化とその要因-大学進学者を中心にした 3 年間の
縦断調査を通して-

広島大学 池尻 良平, 東京都立江北高等学校 相川 浩昭

- ⑤開かれた歴史認識形成を目指す授業開発研究-慰安婦問題における他者理解のための資質
育成-

岡山大学大学院 池田 祐基

【第 7 分科会】 1162 教室

司会：伊藤 直之 (鳴門教育大学)

小谷 恵津子 (玉川大学)

- ①交通不正義を子どもが自ら是正する小学校社会科授業の開発研究ーAlex Karner の国家と
社会をつなぐハイブリットアプローチを手がかりにー

京都教育大学大学院 小森 洋志

②小学校第2学年における地域に関する知識の獲得過程—生活科「地域と生活」の分析から—

江戸川区立大杉第二小学校 柳沼 麻美

③「中学校地理的分野における『個別最適な学び』の設計—日本の諸地域の学習におけるICT活用の可能性—」

早川町立早川中学校 望月 大

④社会認識の深化・拡大をめざす「わからない」に着目した社会科授業開発—小学校第5学年「これからの食料生産」を事例に—

岡山大学大学院 岡田 慧悟

⑤「多様性」をめぐる学力の育成をめざす中学校社会科授業開発—中学校1年生地理的分野「身近な地域の調査」を事例として—

四天王寺大学 西口 卓磨

【第8分科会】 1163 教室

司会：金 鍾成（広島大学）

田中 伸（神戸大学）

①国際社会と人権

甲子園大学 熊谷 正秀

②国境を超えた対話プロジェクトの提案：ケアに焦点を当てて

広島大学大学院 劉 旭

③社会科教師にジェンダー視点は必要か？—女性教師の少なさと「誰が教えるか」の問い直し—

東京都立小川高等学校 別木 萌果

④社会正義の実践は「どこ」から可能か？—若手教師らの異なるゲートキーピング戦略に着目して

千葉経済大学 久保 美奈，廿日市市立大野中学校 岡井 美咲希，
広島市立己斐上中学校 高見 史織，滋賀県立八幡高等学校 山下 光

⑤水俣病発見から70年—今 水俣にどのように向き合うべきか—一次世代に語り継ぐため
今 私たちにできること—

帝京大学 古家 正暢

【第9分科会】 1172 教室

司会：井上 奈穂（鳴門教育大学）

草原 和博（広島大学）

①価値の探究と構築をめざす初等社会科授業開発研究—公共政策学における「妥協」の視点に着目して—

広島大学大学院 西畑 郁希

②社会的な見方・考え方を働かせ、児童の地域観を変容させる社会科授業—小学校第3学年

単元「お店ではたらく人と仕事」を事例として～

熊本大学大学院 志賀 哲朗

- ③「政策改善への参加」の視点を取り入れた小学校社会科の授業開発－第 6 学年政治学習を事例として－

新潟大学大学院 樋口 智彦

- ④経済ウェルビーイングからみた小学 3 年販売単元の開発－手前どりをお店、お客さん、社会（環境）から考える－

山形大学 江間 史明，実践女子大学 猪瀬 武則，山形大学附属小学校 青柳 孝一

- ⑤熟議の成立条件としてのメディア教育の再考－「社会的寛容性」からみるマスメディアの再評価－

岡山理科大学 紙田 路子

【第 10 分科会】 1173 教室

司会：中本 和彦（龍谷大学）

樋口 雅夫（玉川大学）

- ①北海道の子どもたちはナショナルヒストリーをどう意味づけているのか－小学生と中学生の歴史的意義（historical significance）の比較分析－

北海道教育大学教育学部 澤野 友甫，北海道教育大学 星 瑞希

- ②小・中学校社会科「政治・国際関係単元」における系統性－学習指導要領、「解説」及び教科書の記述分析を中心に－

立正大学 中台 正弘

- ③生徒が領土問題を多国間問題として学習する中学校公民学習の授業開発－竹島問題を事例にして－

熊本大学大学院 深川 敬子

- ④子供の地域観の変容を目指す中学校地理地域学習の授業開発－「地方消滅論」を手掛かりにして－

熊本大学大学院 北 慎一郎

- ⑤ラーニング・パートナーとの学びを類型化する－正統的周辺参加論に依拠した中学校社会科授業－

基山町立基山中学校 野田 英樹

理事会【11：40～12：50】

1411 教室

若手交流会【11：40～12：50】

1412 教室

シンポジウム【13：00～16：00】

高橋守雄記念ホール

社会科教育は、主権者教育の充実を図るためにどうあるべきか

社会科教育は、主権者教育の充実を図るためにどうあるべきだろうか。主権者教育とは、「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者」の育成をめざす教育のことである（総務省）。社会科は、その誕生以来、一貫して主権者の育成をめざしてきた。近年の国内外の社会情勢、例えば我が国で選挙権年齢が引き下げられたことや世界各国で民主主義の危機が叫ばれていることなどに着目すると、社会科教育の役割は終わるところか、その重要性がますます高まっているように思われる。

それに対して、主権者を育てる社会科教師の営みは年々難しさを増している。なぜなら、子どもの現実の多様化・多元化が急速に進んでいるからである。海外企業の進出や外国人労働者・留学生の増加に伴い、外国につながる子どもが増えている（子どもの現実の多様化）。また、SNSの普及やGIGAスクール構想により、自分の好きな情報源にアクセスしそれぞれの世界を生きる子どもが増えている（子どもの現実の多元化）。つまり、子どもの同質性や均質性を前提にして、社会科教育のあり方を議論することができなくなってきた。子どもの現実の多様化と多元化が同時に、しかも急速に進む今日、我々は、社会科教育のあり方をどう再構築すればよいのだろうか。

以上のような問題意識のもと、「社会科教育は、主権者教育の充実を図るためにどうあるべきか」という大会テーマを設定する。本大会の開催地である熊本県及び熊本市は、子どもの現実の多様化と多元化が同時に進行する「先進地域」である。本シンポジウムでは、子どもの現実の多様化・多元化に向き合い研究に取り組んできた4人の登壇者を迎えて本大会のテーマについて議論する。

社会科は、元来、地域や社会、文化や学びの多様性・多元性に開かれた教科である。なぜなら、よりよい主権者を育成するためには、それらの多様性・多元性に開かれている必要があるからである。子どもの現実の多様化・多元化に直面する今、本シンポジウムの議論を通して、多様性・多元性を志向する社会科の再定義・再構築を試みたい。

シンポジスト

社会科教育実践/研究の拡張を考える-多様性時代の教育の核として社会科の射程を広げることが可能か-

大分大学 柴田 康弘

主権者教育の充実化をはかる従来の社会科デザインを問うーエンパワメント格差是正実践が示唆する生態学的システム、生きられたカリキュラムー

京都教育大学 小栗 優貴

多様性を普遍化するための KーG12 を通した社会科カリキュラムーカナダ・アルバータ州を手がかりにー

東北学院大学 坪田 益美

人格形成としての社会認識教育学の岐路と帰路，そして進路ー伊東亮三氏を中心とした研究系譜と多様化・多元化の接合点ー

広島大学 南浦 涼介

コーディネーター兼指定討論者

帝京大学 中山 京子

宮崎大学 吉村 功太郎

コーディネーター

熊本大学 藤瀬 泰司

総会【16：00～17：00】

高橋守雄記念ホール

〈2日目(10月13日)〉

課題研究【9:30～11:30】

課題研究Ⅰ 主権者教育の充実を図る小学校社会科の授業実践はどうあるべきか

1131 教室

発表者

学級で行われる社会科主権者教育を問い直すー平和な未来社会の実現をめざしてー

長崎大学 新谷 和幸

正統的周辺参加としての小学校主権者教育の開発

下関市立川棚小学校 青木 達也

「歴史と人々の生活」における小学校社会論争問題学習は主権者育成にどのような影響を与えるかー小学校6学年「熊本城のこれから」の実践を通してー

岡山理科大学 紙田 路子

熊本市立若葉小学校 堀川 祥宏

コーディネーター

岡山理科大学 紙田 路子

山口大学 田本 正一

課題研究Ⅱ 主権者教育の充実を図る中学校社会科の授業実践はどうあるべきか

1141 教室

発表者

主権者として重要な過去に注目し、語る力を育成する歴史学習ー「歴史的意義」を探究の軸とする单元デザイン・実践を通してー

太宰府市立太宰府西中学校 高松 尚平

中学校社会科における社会問題提起学習の授業設計ー政治的有効性に着目してー

西脇市立西脇南中学校 横川 和成

社会科ならではの主権者教育ー数学科からの逆照射ー

宮城教育大学 吉田 純太郎

コーディネーター

鳴門教育大学 井上 奈穂

兵庫教育大学 山内 敏男

課題研究Ⅲ 主権者教育の充実を図る高等学校社会系教科の授業実践はどうあるべきか
1151 教室

発表者

地理的な見方・考え方を活かした異文化理解のための「地理総合」単元開発

茨城大学 金久保 響子

概念を基盤にした歴史学習は主権者教育としてどう具体化できるか—社会を構想する力を育むために—

岡山大学 山田 秀和

大阪府立藤井寺工科高等学校／兵庫教育大学連合大学院 鈴木 華子

岡山県立倉敷天城高等学校 小山 大輔

多面的・多角的な学習を生かす高校の主権者教育の視点—平和な未来社会を拓くために—

広島経済大学 胤森 裕暢

コーディネーター

島根大学 宇都宮 明子

川崎医療福祉大学 中原 朋生

自由研究発表【12：20～13：50】

※一人（グループ）20分発表・10分質疑

【第1分科会】 1131 教室

司会：永田 忠道（広島大学）

- ①昭和初期における成城小学校の地理教育改革—小林茂の理論と実践をもとにして—
兵庫教育大学 福田 喜彦
- ②有田和正と長岡文雄の決別に至る経緯と背景—現実性論争とその後の動向をとおして—
鹿児島大学 大野木 俊文
- ③戦前公民科成立期における「人ト社会」の目標と取扱い—木村正義の所論を中心として—
新潟大学 金本 健司

【第2分科会】 1132 教室

司会：吉村 功太郎（宮崎大学）

- ①ドイツ連邦バイエルン州における Politische Bildung の構造：主権者教育における「参加」と社会系教科の可能性
大阪産業大学 宅島 大亮，独立研究者 奥村 尚，
太宰府市立太宰府西中学校 高松 尚平，瑞穂市立本田小学校 村田 一朗
- ②ロールプレイと熟議を通じた政策選択型学習の設計原理—米国ブラウン大学 Choices Program を手がかりに—
お茶の水女子大学 植原 督詞
- ③スタンダード時代における真正なアートベース市民教育論の意義と課題—SSEC プロジェクト『Preparing Citizens』を手がかりに—
埼玉学園大学 堀田 諭

【第3分科会】 1133 教室

司会：福井 駿（鹿児島大学）

- ①社会科授業において、何のために誰と出会うべきなのか？—高等学校公民科・公共オンライン授業の単元開発を通して—
広島大学 神田 颯，広島大学 宇ノ木 啓太，広島大学 川本 吉太郎，
広島大学 三井 成宗，広島大学 草原 和博
- ②社会科授業における「ジェンダー」の概念分析—多様な性を包摂する社会科授業を目指して—
独立研究者 奥村 尚，瑞穂市立本田小学校 村田 一朗
- ③当事者研究を社会科教育研究に包摂することの意味と意義
宮崎大学 藤本 将人，宮崎市立宮崎中学校 鬼塚 拓

【第4分科会】 1134 教室

司会：土肥 大次郎（長崎大学）

- ①公民科授業における「共同」の「柔らかい」「自己寛容的な」議論についての考察－単元「消費と人権」を事例に－

佐賀大学 江島 薫

- ②民主主義の担い手として必要な資質・能力の獲得を目指す高等学校公民科公共の授業開発～地方議員のなり手不足と定数問題を題材にして～

熊本大学大学院 大山 颯太

- ③社会参加学習は「時間がない」のか－学校現場において提案・参加まで実践する手立ての検討－

滋賀県立東大津高等学校 松本 理敬，独立研究者 奥村 尚

【第5分科会】 1141 教室

司会：溝口 和宏（鹿児島大学）

- ①「よりよい市民」の育成を目指す正統的周辺参加に依拠した高等学校日本史探究の授業開発－「佐賀の文化財の継承を考える」をもとに

佐賀大学大学院 三原 泰斗

- ②行き過ぎた商業主義について考える高等学校歴史総合の授業開発

熊本大学大学院 後藤 魁人

- ③日本の教室で困難な歴史は教えられるか－社会科教育を専攻する大学院生の議論から見えてくる論点・争点－

広島大学 金 鍾成，広島大学大学院 上中 蒼也，広島大学大学院 井戸 浩太

広島大学大学院 陳 禹丞，広島大学大学院 長谷川 智洋，

広島大学大学院 三谷 日奈子，広島大学大学院 劉 旭，

広島大学大学院 中村 賢治，広島大学大学院 野呂 航平，

広島大学教育学部 玄 紀雲

【第6分科会】 1151 教室

司会：新谷 和幸（長崎大学）

- ①選挙啓発を中心とした主権者教育ゲーム開発のためのフレームワーク検討

宮崎産業経営大学 内田 保雄，宮崎産業経営大学 小野 創太，

宮崎大学 藤本 将人

- ②小学校社会科における「国際連合の働き」学習の刷新－「ユニセフやユネスコの身近な活動」から「限界と可能性」へ－

西九州大学 松井 克行

- ③論争問題学習に〈私〉を位置づける－プラグマティズム型の社会科を見据えて－

お茶の水女子大学 大脇 和志，お茶の水女子大学附属小学校 片山 元裕

【第7分科会】 1162 教室

司会：岩崎 圭祐（鹿児島大学）

- ①正統的周辺参加に基づく中学校社会科授業の開発 ―九州・佐賀の社会的問題を取り上げて―

佐賀大学大学院 萩原 健

- ②探究的に問うことができる児童生徒へ誘う小・中・高校での授業事例分析―自律的な学びのための4要素を視点に―

福岡教育大学 豊嶋 啓司，福岡教育大学 坂井 清隆，大分大学 柴田 康弘，
熊本学園大学 木下 祥一，福岡県教育庁福岡教育事務所 井手 司，
福岡教育大学附属福岡中学校 横光 雄介，福岡教育大学附属久留米中学校 土橋 亮太，
福岡県立修猷館高等学校 福岡 泰規，福岡県立東筑高等学校 野田 惟仁

- ③個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る学習過程の創造―社会に見られる課題の把握と「つなぐ段階」の設定を通して―

新宿区立四谷小学校 石井 正広，新宿区立西戸山小学校 田内 利美，
新宿区立四谷小学校 渡邊 歩，新宿区立四谷小学校 日向野 彰久

【第8分科会】 1172 教室

司会：田本 正一（山口大学）

- ①戦後80年「戦争体験の継承」を再考する初等社会科授業の実際と意義 ―平和博物館における望ましい展示の在り方をめぐって―

熊野町立熊野第四小学校 中村 祐哉，立命館大学 角田 将士

- ②国立歴史民俗博物館博学連携研究員制度と教員の力量形成

北九州工業高等専門学校 海上 尚美，
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 宮崎 亮太

- ③公文書館資料の学校教育への活用の可能性：日本銀行金融研究所アーカイブを事例として

日本銀行金融研究所アーカイブ 近藤 麻里

研究委員会地域連携プロジェクト【14：00～16：00】

1163 教室

社会科授業づくりのブラックボックスをひらくⅣ

ー良い授業ができるまでのプロセスの見える化ー

趣旨：本プロジェクトは、話題提供をいただく実践者に授業ができるまでの「プロセス」を中心に報告いただきます。報告者から開示された授業づくりの苦労やつまずき、楽しさや課題突破の方法等を参加者が共有し、これからの「良い授業づくり」に役立てること、社会科教育学研究、教師教育研究における新たな課題の発見、地平をひらくことを期待しています。

登壇者：原口琢哉（熊本市立白山小学校）

単元「私たちの生活と森林」

小学校社会科において教科書を「使う」から「活かす」ための授業づくりとは…

山下大輝（熊本市立清水中学校）

単元「市場経済と消費生活ーエシカル消費を教材にしてー」

私たちの消費と、社会や環境に関わる問題とを関連付けた授業を行うには…

国際委員会企画ラウンドテーブル【14：00～16：00】

1173 教室

国際研究の扉をひらく（2）

テーマ：あなたは、なぜ外国研究を行っていますか？

趣旨：本ラウンドテーブルでは、本企画の第2回目として、外国の社会科教育を対象として研究を進めているベテラン、中堅、若手研究者に、外国研究に取り組んだ個人的関心、研究的意義、研究方法、研究環境、これからの外国研究の展望などを語っていただく。世界各地の社会科教育研究に関心をもつ参加者とともに、peaceful な空間で語り合いたい。

登壇者：守谷富士彦先生（四天王寺大学）

福田善彦先生（兵庫教育大学）

溝口和宏先生（鹿児島大学）

コーディネーター：田中 伸（神戸大学）・桐谷正信（埼玉大学）